

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 19 日 (2012.1.19)

【公開番号】特開 2011-113423 (P2011-113423A)

【公開日】平成 23 年 6 月 9 日 (2011.6.9)

【年通号数】公開・登録公報 2011-023

【出願番号】特願 2009-270933 (P2009-270933)

【国際特許分類】

G 0 7 D 1/00 (2006.01)

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 7 D 1/00 3 4 1 D

G 0 7 D 9/00 3 2 6

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 30 日 (2011.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 6 】

スライダ 3 3 の両脇には、昇降ローラ 4 2 が設けられている。昇降ローラ 4 2 は、スライダ 3 3 の上下動を円滑に行わせるための部材である。昇降ローラ 4 2 は、スライダ 3 3 の周囲に上下方向に設けられた図示せぬ 2 本のレール（スライダ軸）に当接している。スライダ 3 3 は、昇降ローラ 4 2 が 2 本のレールの表面を回転することにより、2 本のレールに沿って上下方向に摺動する。又は、昇降ローラ 4 2 は、図 6 に示すように、昇降ローラ回転軸 4 3 によってブラケット 3 2 に回転自在に固定されるだけの構成となっていてよい。なお、図 6 は、昇降ローラ 4 2 の断面構成を拡大して示している。このように構成された昇降ローラ 4 2 は、スライダ 3 3 が上下動する際に回転することでスライダ 3 3 の上下動を円滑に行わせる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 4 】

1 媒体処理装置（自動取引装置；A T M）

6 制御部

7 記憶部

1 0 接近検知器

1 1 顧客操作表示部

1 2 貨幣入出金部（紙幣入出金部）

1 3 カード処理部

1 4 テンキー部

1 5 レシート処理部

1 6 外部シャッタ（筐体シャッタ）

1 7 内部シャッタ（紙幣機シャッタ）

1 8 入出金口

2 1 カセット部

2 2 一時保留部

2 3 鑑別部

2 4 搬送路

3 0 紙幣入出金口機構

3 1 a , 3 1 b プールガイド

3 2 ブラケット

3 3 (3 3 a , 3 3 b , 3 3 c) スライダ (支持部材)

3 5 リンク部材

3 6 駆動モータ

3 7 駆動ギア

3 8 伝達ギア (回転部材)

3 9 伝達ローラ

4 2 昇降ローラ

4 3 昇降ローラ回転軸

5 1 支点部

5 2 駆動受部

5 3 昇降部

5 4 長孔

5 5 連結部

M 媒体 (紙幣)

【 手続補正 3 】

【 補正対象書類名 】 図面

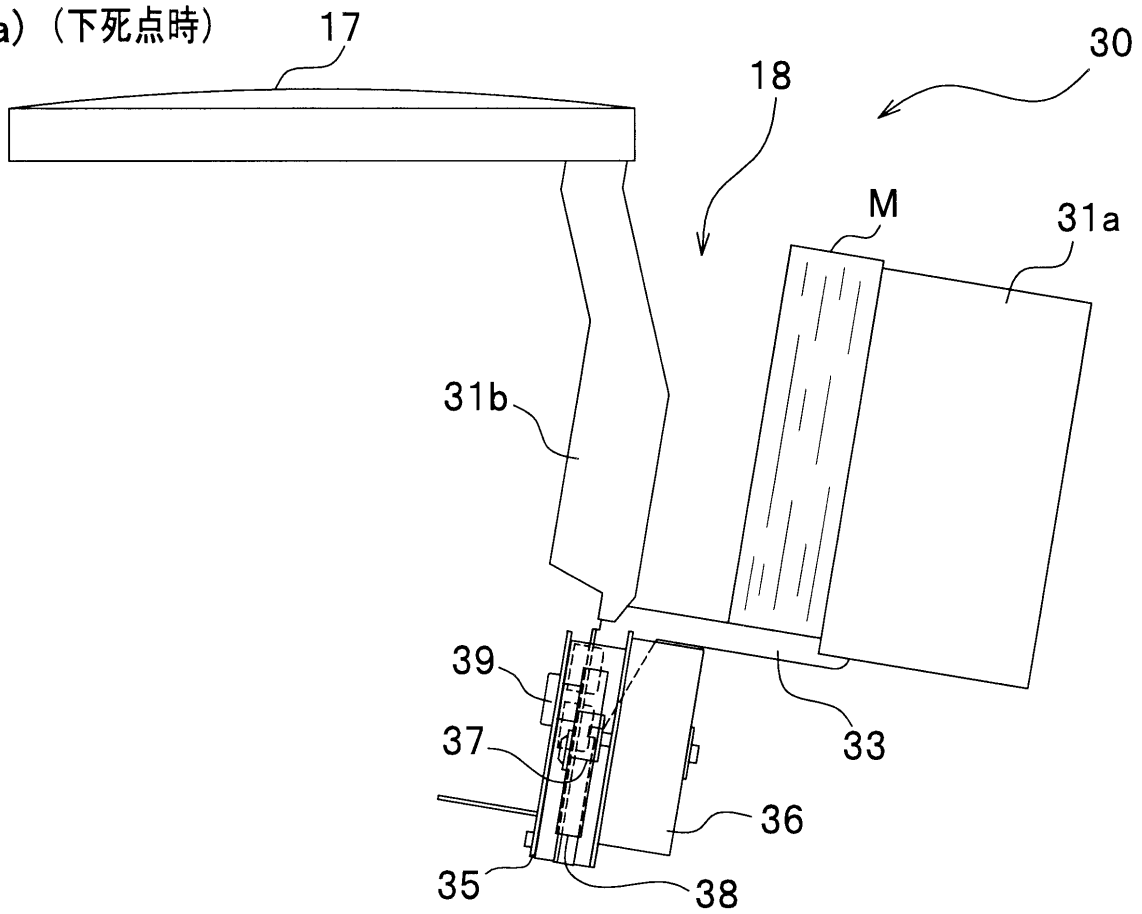
【 補正対象項目名 】 図 8

【 補正方法 】 変更

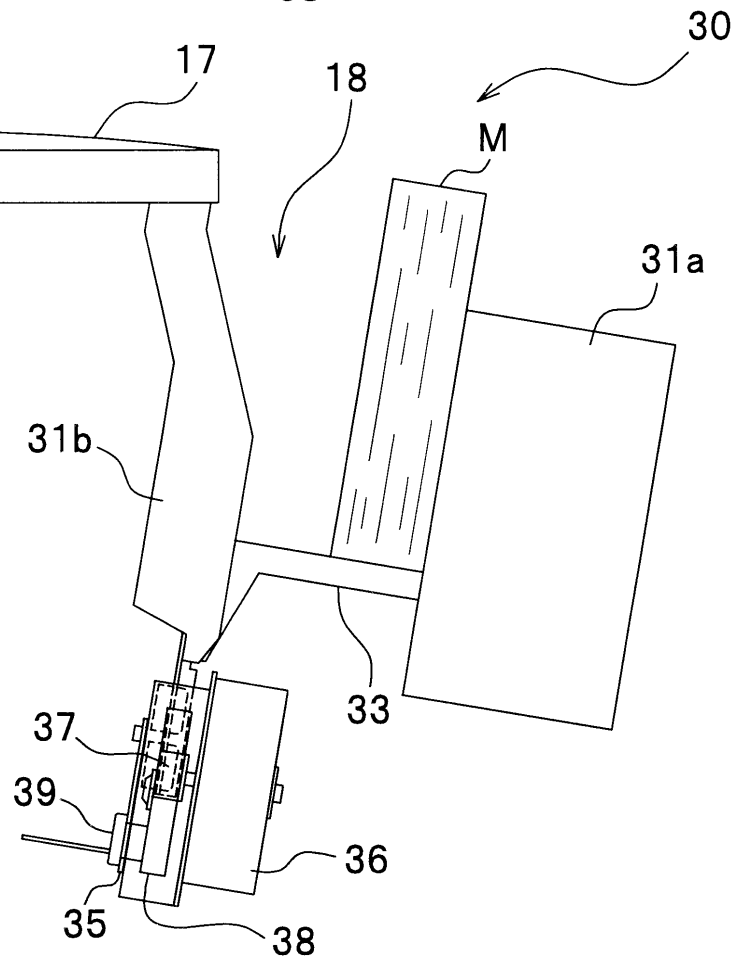
【 補正の内容 】

【図 8】

(a) (下死点時)



(b) (上死点時)



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

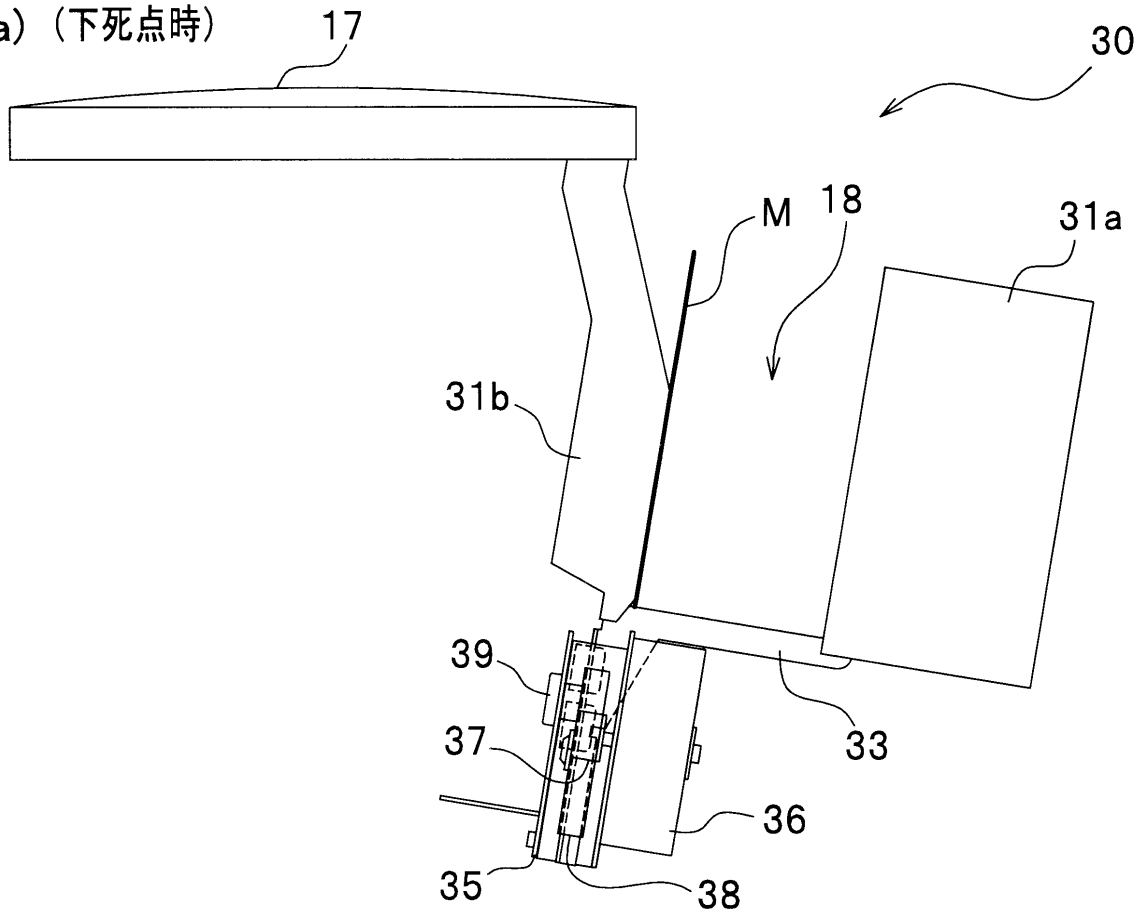
【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 9】

(a) (下死点時)



(b) (上死点時)

